

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも…



Vol.63

「ピリカ」って何だろう？



ピリカです、ピリ辛ではありませぬ。アイヌ語で「美しい」「きれい」という意味です。

森繁久彌「知床旅情」の2番の歌詞にも出てきますね。バイオリン奏者の葉加瀬太郎の曲にはエトピリカというのがありますが、「エトピリカ」で「くちばしの美しい鳥」という意味なんだそうです。

さて、鳥羽市では2月からごみ拾いSNSピリカなどを活用し、みなさんの清掃活動を見える化する「とばの海をまもるプロジェクト」を始めました。SNSピリカはごみを拾って写真に撮って投稿するだけ、ぜひみなさんも一緒に楽しみませんか？「ごみ拾いが楽しい？」「って不思議ですね。」



SNSピリカのアイコン

木曽三川や県内の宮川、櫛田川などを通じて伊勢湾に流れ込むごみの量は、年間約1万2千トンと言われ、残念なことにはそのうちの約5千トン

が鳥羽市の海岸に漂着していると考えられています。そのまま漂着せずに太平洋へ流れ出るごみもこれまた問題ですが……。

そのため、以前は海岸沿いに住む集落のかたたちが中心になつて、その片付けの労を担ってきました。そして最近では、海岸によつては市外・県外からもボランティアが集まり、清掃するところも出てきました。

しかし、人が集まつてきて清掃するのは非常にありがたいことですが、それではいつまでたつても根本的な解決にはなりません。究極の解決はごみを出さないこと、出たごみがあつたとしても川や海に流れ出すことをストップさせることです。道端に落ちていくごみ、空き缶、ペットボトル、レジ袋、吸い殻などを海へ流れ出す前に「楽しく」つかまえて、というのがSNSピリカなのです。

まずはアプリをダウンロード！

ごみ拾いを楽しむためのSNSアプリ「ピリカ」(無料)



corp.pirika.org/sns-pirika/

清掃活動見える化ページ「とばの海をまもるプロジェクト」をチェック！



toba.city.pirika.org/



私のこれまでの活動状況
(2月20日現在)

まずはQRコードからアプリをダウンロードします。ごみを見つけたら写真を撮り、個数を記入して、コメントをつけて投稿します。どこで拾ったかという位置情報を載せることで発生元がデータ化されます。世界100以上の国と地域に参加者がいて、いろんなコメントが他の参加者から寄せられるのが「一緒に楽しめる」理由です。私は今や運転中に車を停めてまでごみを拾うほどに楽しんでいきます。

ちなみにこのSNSピリカを活用したプロジェクトについては、フェンシングの山田優選手も鳥羽の海を守るためにとPRに「役買って」ってくれています。

イコールパートナーシップ

Vol.148



トイレのお話

市民課人権・市民交流係

☎ 25 1126

みなさんはトイレにどんなイメージをお持ちですか？

畔蛸町にある面白展望台には、ログハウス風のトイレがあります。また、古代ローマを思わせる壁や噴水が設置されるなど、ユニークなトイレが登場しています。

トイレは用を足すだけの場所ではありません。例えば、身だしなみを整える場にもなります。

オムツ交換の際もトイレを使用します。しかし、男性用トイレにオムツ交換台が無いことがあり、課題となっています。

また、女性用トイレの個室には、生理用品を廃棄するためゴミ箱が設置されています。しかし、男性用トイレには無い場合が多く、病気などの事情で個室内のゴミ箱が必要な時に困ったという声があります。

車いすのかたや高齢者な

どが使いやすい、完全個室の多機能トイレも増えてきました。しかし、性的マイノリティのかたが多機能トイレを使用する際、なぜ多機能トイレを使用するのかという周囲の目線が気になる、使いづらく感じることもあります。

ニューヨークでは「オールジェンダー(全ての性)」「ジェンダーニュートラル(性的に中立・性別不問)」などと書かれた「オールジェンダートイレ」が公共の場に設置されています。しかし、同じアメリカでも、政治的・宗教的な背景により、州によって状況は異なります。

全ての人が安心してトイレを利用できるように、目的や用途に応じたトイレが登場しています。トイレを通して多様な世界を見つめてみませんか。